

# 次世代医療ICTタスクフォースの設置について

## 1. 目的

- 医療・介護・健康分野(以下 医療)における徹底的なデジタル化・ICT化を図り、世界最先端の医療を実現する。具体的には、医療における、①場所性、②時間制約、③侵襲性等を排除・克服することにより、例えば、医療機関のマネジメント(ロジスティックを含む)をリアルタイムで制御する、効果的で効率的な医療の実現。また、これらのシステムで生じられるデジタルデータの利活用による医療の高度化、効率化 等が推進される環境を実現。
- これらの実現は、日本医療研究開発機構(仮称)(AMED)が臨床研究の強化を図る際、①臨床現場の多忙さ、②分散している研究現場、③健診情報等多用なデータが未活用の状況 等を解決、世界最先端の臨床研究を実現するためにも必須。

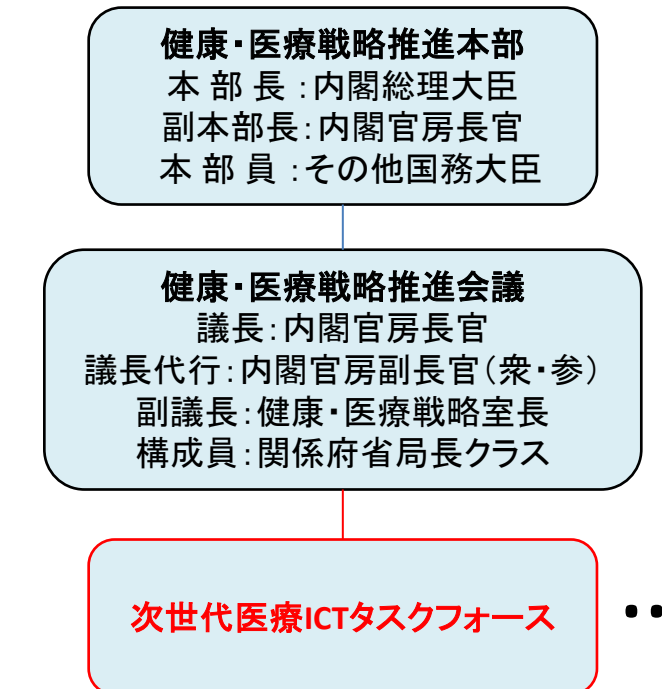
## 2. タスクフォースの設置

- 健康・医療戦略(平成25年6月14日関係閣僚申合せ)等に基づき、次世代型の医療機器、病院システムの開発・実装促進や、臨床研究基盤の強化に資するデータ利活用の高度化等を推進するため、健康・医療戦略推進本部の下に、IT総合戦略本部と連携しながら、次世代医療ICTタスクフォースを設置する。(タスクフォースの設置については、産業競争力会議 医療・介護等分科会 中間整理(平成25年12月26日策定)等においても記載。)

## 3. 構成員

- 議長 : 内閣官房健康・医療戦略室長
- 有識者: 飯塚 悦功(東京大学名誉教授)  
(五十音順) 菊地 眞((公財)医療機器センター理事長)  
近藤 達也((独)PMDA理事長)  
神成 淳司(慶應義塾大学環境情報学部兼医学部准教授)  
田中 紘一(医療法人社団神戸国際フロンティアメディカルセンター理事長)  
永井 良三(自治医科大学長)  
矢作 尚久((独)国立成育医療研究センター)  
山本 隆一((一財)医療情報システム開発センター理事長)  
吉原 博幸(京都大学名誉教授)
- 事務局: 内閣官房健康・医療戦略室
- 関係府省:
  - 内閣官房内閣審議官(内閣官房副長官補付)
  - 内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略副室長
  - 総務省政策統括官(情報通信担当)
  - 文部科学省研究振興局長
  - 厚生労働省政策統括官(社会保障担当)
  - 農林水産省食料産業局長
  - 経済産業省商務情報政策局長
  - 財務省主計局(オブザーバ)
  - (一社)MEJ(オブザーバ)
  - ※新しい病院システム等の国際展開等の視点

## 【体制図】



## 4. 今後のスケジュール

- 平成26年3月24日: 健康・医療戦略推進本部の下に、「次世代医療ICTタスクフォース」を設置。
- 平成26年3月26日: 「次世代医療ICTタスクフォース」の第1回会合を開催。健康・医療分野における徹底的なデジタル化・ICT化へ向け、①新サービス創出、②効果的・効率的な医療、③治療の質・安全性の均一化、④コホート研究・臨床研究基盤の強化を含む、関係府省等が連携して推進するための行動計画の原案等について議論を開始。
- 平成26年6月頃: 上記の行動計画を策定し、成長戦略へも反映予定。